

発行者：教育委員会子ども教育課 電話 0475-80-1456

第1回学校運営協議会 開催（概要紹介）

◆山武中学校運営協議会委員◆ ◎会長 ○副会長

- ・十川 倫江 委員（主任児童委員）
- ・鈴木 仁 委員（民生児童委員）
- ・古川 寛之 委員（山武北小学校長）
- ・澤野 栄男 委員（社会福祉協議会日向東地区会長）
- ・土屋 明子 委員（日向小学校長）
- ・竹内 秀樹 委員（睦岡小学校長）

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

【文部科学省 HP より】

【報告】協議（３）にて報告を行う。

【協議】

（１）会長選出 （２）副会長選出 ※承認

（３）本年度の重点の具体的方策について 再承認

○教育理念 「その道において一流」

○学校教育目標「豊かな人間性を備えた生徒を育てる」

夢と希望を持ち目標に向かって力強く前進する生徒の育成

○山武中ポリシー「自ら考え考動し共（生徒・教師・地域）に創る」

（１）授業を創り、学びを創る。（２）自分を作り、仲間を創る。

（３）心と身体を作り、学校を創る。（４）文化を創り、地域を創る。

○目指す学校像・・・学び合いのある学校 明るい学校 楽しい学校 活力のある学校 信頼される学校

○達成のための方策

（１）確かな学力を育む学習の推進（２）豊かな心を育む教育と望ましい人間関係づくりの推進

（３）「健やかな体」を育む指導と安心・安全な環境づくりの推進

（４）地域・家庭及び学校間の連携と信頼される学校づくりの推進

（５）教職員の資質向上を目指した研修と働き方改革の推進

○本年度の課題

（１）確かな学力の定着 （２）長欠（不登校）生徒の解消 （３）外国籍生徒の支援・指導（４）部活動地域移行

○学校支援について

（１）外国籍生徒支援（２）通学見守り支援（３）環境整備支援（４）部活動支援

【意見交換】・・・外国籍生徒に対するの日本語指導について

日本語指導のスタッフとしてのキャリア

英語が堪能でなくても指導できる。
ある程度の単語を知っていれば指導は可能。
ただ、生徒は英語しか理解できない。

日本語指導の教材

山武市が作成したシラ
バスにそって指導する。
小学校の指導事例紹介

妨げるもの

文化の違い 感覚の違い
外国籍の生徒同士で集まると
母国語しか話さない
勉強嫌いの子どももいる

ボランティアを募る 現在県、市より２名の
支援員がいるが更に募集中。学生を募集した
らどうか。城西国際大学の学生と日本語交流
を行っているが、送迎の問題がある。

苦勞すること

進学希望があっても、
入学試験のハードルが
高い。

* 支援について、学校だけでは難し
いので、市との連携が必要。

やる気を育てる やる気のある人は伸びる。興味があるものには自分から飛び込んでいく。

４）その他

校長より・・・ 特色ある学校づくりについての説明

・ 行事の平日開催

・ ５時間授業の推進

・ 部活動の地域移行



（４）今後の会議スケジュール

令和６年１１月１３日（水）授業参観、現状の課題と支援について

令和７年２月１８日（火）学校評価、R7 年度の方針について



新委員による山武中学校の学校運営協議会がスタートしました。委員の方々の知恵やこれまでの経験をもとに、６年目を迎える学校運営協議会が、地域と一体となっていくことが期待されます。保護者、地域の方々も、山武中学校の教育活動にご協力お願いします。尚、傍聴を希望する方は、事前に事務局又は学校へご連絡ください。（事務局）